京都府高体連ハンドボール専門部

令和４年度　第10回京都府高等学校夏季ハンドボール選手権大会の感染防止対策について

１　　会場に来場できる人（大会役員、登録メンバー、役員、**チーム関係者20名以内、委員長・副委員長**

**が入場を認めた者）**なおチームドクターは役員に含むこと。

(1) 受付を設置します。関係者以外立入禁止とします。

　(2) 来場できる人は、「検温確認表」に必要事項が記載されており、各学校の引率責任者が対応できる人に限る。

　(3) **チーム関係者は代表者が受付に「チーム関係者入場一覧表」を提出し、試合開始20分前にまとまって入場する。遅れてきた場合は入場できません。**

　(4) 各学校の入場は、**試合開始２時間前から可能**とし、引率責任者は「検温確認表」を受付に提出して入場すること。また、**試合後は担当業務（オフィシャル・モップなど）が終了してからすみやかに退館してください。**

　(5) 部員以外(指導者、チームドクター)は、所属・氏名が明記されたネームプレートを付けること。

２　競技に関する確認事項

　(1) 試合について

　　ア　トスは、代表者が前の試合ハーフタイムに行う。**第１試合はゲーム開始30分前とする。**

　　イ　ハーフタイム時にはベンチを速やかに移動すること。競技場外への移動はできない。

　　ウ　第１試合の**オフィシャル・モップは第３試合の各チーム代表者4名**が担当する。

　　エ　第３試合のチームの代表者４名は、**９時に受付**に来て用意をしてください。

　　オ　第２試合のチームはコート設営準備があるので**開館前の８時４０分**には到着していること。

カ　ハーフタイムに**コートを使用してのアップはできるが、発声は禁止する。**なお、**試合直前は時間がないので原則コートの使用はできません。**

　　キ　ウォーミングアップは、外のサブアリーナ横のみボールを使用してもよい。なお、正面入口付近や軒下でのアップ・**発声は禁止**する。

ク　今大会は、作戦タイム・給水タイムはありません。

　　ケ　試合中ベンチにいる選手は原則**マスクを着用**すること。

　　コ　**最終試合のチーム**でコートの後片付けをする。

　(2) 消毒・除菌について

　　ア　**観客席の消毒・除菌については、各チーム**で行う。また、消毒に関する用具も各校で用意する。

　　イ　コートで使用した**ベンチなどの消毒については、ハーフタイム・試合後すぐに試合をしたチーム**で行う。なお、消毒に関する用具は高体連専門部で用意する。

３　試合当日の対策について

(1) 手洗い・うがいの施行、咳エチケット、マスク持参と必要時の着用、室内の換気を行う。

(2)大会役員、チーム関係者など試合会場へ入場するすべての人は、会場入場の際は必ずマスクを着用すること。検温は起床後できるだけ速やかに行い記録すること。なお、37.5℃以上の熱、咳やのどの痛み、倦怠感、呼吸困難、味覚・臭覚に異常がある場合は**入場できない**こととする。

４　参加校の対策について

　(1) 熱中症対策にも十分に配慮することとし、水分補給を行うときは、各自のペットボトルや、使い捨

て紙コップなどを用意し、飲み回しなどを行わないようにすること。マスクを常時着用すると体力

消耗にもつながるので着用の状況を適切に判断すること。

　(2) 周囲の人とは対面を避け会話は控えめにすること。利用後は座席等を消毒・除菌を行い、ごみは必ず持ち帰ること。(消毒する用具は各校で準備すること)

　(3) 更衣室は、マスクを着用して接触や会話など、人との間隔にも注意して短時間で利用すること。

　(4) 各学校における感染拡大防止対策については、併せて講ずること。

　(5) 座席については１つ空けるなど**間隔をとって使用する**こと。

　(6) **発声や応援グッズ**（ペットボトル・太鼓など）を使用しての**応援は禁止**とします。

　(7) 座席の指定は行いません。

５　その他

1. 感染拡大防止の観点から、**保護者の体育館内**での**昼食や補食は禁止**とする。ただし、水分については認める。

　**(2) 大会期間中、コロナ感染症の感染者(濃厚接触者含む)が出た場合は、速やかに連絡してください。連絡先：高体連ハンドボール専門部委員長　加藤　英二　０９０－７１０６－６３５４**